

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会				事業番号	011-123	
担当部署名	健康福祉局	局	障害福祉部	部	障害施策推進課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5)障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
			有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	現状値	—	目標値	—
			有	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	第5次堺市障害者計画・第7期堺市障害福祉計画・第3期堺市障害児福祉計画		
3	事業開始年度	昭和 51 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（略称：障害者総合支援法）		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	堺市内在住、在勤又は在学の障害者（児）、年齢制限なし				対象数	単位
						約74,000	人
7	事業の目的	障害者の健康の維持増進を図り、多くの人と一緒に楽しみ、障害のない人を含めた市民の交流の場として実施（開催）している。					
8	事業内容	開催日 令和7年11月3日（月・祝） 開催場所 大泉緑地球技広場 開催内容 50m走、糸巻競争、ボール運び、フラフープ玉入れ、グラウンドゴルフ、ウォークラリー、フライングディスク、大玉ころがし、体力チェック、レクリエーションイベント（和太鼓、よさこいソーラン） 参加者数 1,609名					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会実行委員会					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	障害者スポーツ・レクリエーションの普及・振興						
	当該目標を設定した理由	当事業の開催により障害のある方の社会参加が促進されたほか、当日多くの障害者スポーツ競技やレクリエーションに参加することでスポーツ等を始めるきっかけにもすることができるため					
	目標に対する実績	事業当日は障害のある方が多くの競技・レクリエーションに参加している					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	参加者数（市内障害者及び介助者）	人	目標値	1,400	1,416	1,609	
			実績値	—	1,609		
			達成率	—	114%		
	当該指標を選定した理由	障害者の社会参加を促進するため、参加者数を目標とする。					
	目標値の設定根拠・算出方法	前回参加者数以上。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会	事業番号	011-123
-------	----------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量												
事業コスト					※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。				(単位：千円)			
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
			決算		決算		当初予算		当初予算			
		事業費 (a)	3,478		2,385		3,516		3,516		3,683	
		国支出金	0		0		0		0		0	
		府支出金	0		0		0		0		0	
		市債	0		0		0		0		0	
		その他 (地域福祉推進基金・スポーツ振興補助金 ※R8要求はスポーツ振興補助金のみ)	3,478		2,385		3,516		3,516		2,180	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0		0	
14	人件費 (b)	3,240		3,240		3,360		3,360		3,480		
		3,240		3,240		3,360		3,360		3,480		
15	年間経費 (c)=(a)+(b)	6,718		5,625		6,876		6,876		7,163		
事業費の内訳					(単位：千円)							
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	
		医師報酬	R7	決算	56	0		R7	決算			
			R8	予算	56	56		R8	予算			
		実行委員会負担金	R7	決算	3,460	0		R7	決算			
			R8	予算	3,627	1,447		R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
			R8	予算				R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
			R8	予算				R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
			R8	予算				R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
R8	予算				R8	予算						
Ⅳ. 事業の効率性												
単位当たり経費												
17	①	参加人数			人	令和6年度			令和7年度			
	②	上記①にかかる年間経費			千円	5,625			6,876			
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)			円/単位	—			5,060			
	算出についての説明等											
Ⅴ. 評価												
費用対効果に係る所見												
18	長年に渡り、当該大会を開催し、参加者にとって貴重なスポーツ・レクリエーションの機会として定着している。 令和6年度は前日の警報級大雨によるグラウンド不良のため中止となったが、令和7年度は1日開催となり、参加予定人数は過去最多であった。障害者や障害者団体などからの大会への大きなニーズの反映であると考え。民間企業からの協賛金の提供及び大会運営への参加、協力団体などからのボランティアの参加は、障害のある人となない人との間の協調精神に大きく寄与している。本事業への経費は事務経費や警備費用、会場設営に係る費用に使用されており、大会運営に必要不可欠なものである。今後も協賛企業の確保に努め、また、参加者数の増加を図り、費用対効果を向上させる。											
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）												
19	本事業は長年にわたり障害者のスポーツ・レクリエーション活動を通じて社会参加、交流を深めることを目的に継続して実施している。 実施については、障害当事者団体等により実行委員会を組織し、実行委員会による運営をしていることにあわせて競技の際には、多くのボランティアに協力いただいており、令和6年度からは、大阪府立泉陽高校女子バレーボール部からもボランティアとして参加していただいている（令和6年度は警報級大雨により中止）。 例年、参加者数も1,000人を超えており、一定水準のニーズを保ちながら適切に実施されている。今後もこれらのニーズに応え、障害者の社会参加、交流を促進するためには現状を維持した大会の開催が求められていると考えられる。 本大会にて、障害者のスポーツ及びレクリエーションを行う場を提供するほか、企業やボランティアが参加するなど障害のない人を含めた市民との交流を行うことは、堺市基本計画2025及びSDGs未来都市計画に掲げる取組の方向性に対して寄与している。											
令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）												
20	必要性	■ 高い □ 低い 本事業は長年継続して実施され、例年1,000人を超える参加者を維持し、令和7年度には過去最多の参加希望が見込まれるなど、障害者の社会参加や交流機会に対する安定的かつ高いニーズが確認できる。また、障害特性に配慮した大規模な交流機会は代替が難しく、本事業はその重要な受け皿となっている。運営面では、障害当事者団体による実行委員会方式に加え、企業協賛や市民・学生ボランティアの継続的な参画により、多様な主体が関わる仕組みが構築されており、相互理解の促進や共生社会の実現に具体的に寄与している。更に、協賛金やボランティアの活用により行政負担を抑えつつ、継続的に大規模な参加機会を提供しており、費用対効果の面でも合理性が認められる。以上により、本事業は目的である障害者の社会参加促進に対して継続的に成果を上げており、基本計画2025及びSDGsの方向性にも合致することから、必要性・有効性ともに高い事業であると評価できる。										
	有効性	■ 高い □ 低い										